



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーを
祝おう

100年の歩み

会 長：林 厚 雄
副 会 長：岩 切 正 司
幹 事：藤 堂 孝 一

会 計：柳 田 光 寛
会報委員長：宮 原 建 樹

2004-2005 年度 R I テーマ

第 860 回 平成 16 年 11 月 17 日 (水)

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食 事 の 時 間
3. ロータリーソング
「我 ら の 生 業」
4. 四つのテストの唱和
5. 会 長 の 時 間
6. 幹 事 報 告
7. 委 員 会 報 告
8. ロータリー情報
9. 点 鐘

そして、若い人のロータリーへの意識がなくなってきた。今、今後100年をどうするのかを考えなくてはなりません。

- 40年過ぎたクラブで若い会員が脱会する理由として
- 1) 定款の緩和されている。
 - 2) 不必要な委員会があると足かせになる。
年度に目標とする委員会を作って、それに絞って活動する
 - 3) 家族の人が出席する機会が少ない。
 - 4) 地域社会が見ると考えが古くなった。
 - 5) 毎年あたりさわりのない奉仕プログラムしかない。
 - 6) 若い会員がついて来られる運営をしていない。
 - 7) プログラムを計画してもついてこない会員が多くなった。
(無関心の会員が多い)

第 859 回の記録 平成 16 年 11 月 10 日 (水)

☆会長の時間 会 長 林 厚 雄 君

10月31日の地区大会に参加された方はお疲れ様でした。帰りに、福井さんの案内で平川町にある、最福寺に行ってきました。高さ18.5メートルもある木造の大弁財天が、ビルで例えますと4階建てに相当する建造物の中にすっぽりと納まっています。こんな所に、こんなお寺があることはまったく知りませんでした。

最福寺の施設では、ボランティアの案内の修行中の女性が一生懸命に説明をしていただき、帰りの私達のバスにまで手を振って見送って頂きました。

地区大会では川尻政輝 国際ロータリーR・I 会長代理が講演されたことについて少し話を致します。

ロータリアンの資格

100年前のロータリーは職業分類が原点。シカゴでのポール・ハリスはよそ者だったので、友達を作るためにロータリークラブを発足しました。現在は100年前の社会環境とは違う、それを踏まえてポールと同じ気持ちで活動して欲しい。

職業分類

職業意識を中心とするのか、フリーターなど職業の無い人、家族会員をどこまで取り組むのか、また、最近NPOなどの団体も現れ社会が大きく変わっています。

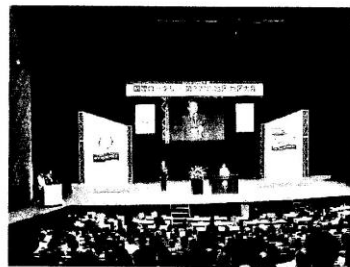
東京の3クラブで2007年度の規定審議会が行われるまで試験的に今までと違った方法で例会をやっています。月に2回、そして夜間だそうです。

結果は

- | | | | |
|--------|--------|-------------|-----|
| 高輪クラブ | 23名の増加 | 2007年度までの目標 | 50名 |
| 足利クラブ | 8名の増加 | 2007年度までの目標 | 80名 |
| 春日部クラブ | 6名の増加 | 2007年度までの目標 | 80名 |

また、会員の経済的負担を軽減するため、入会金をなくしたり会費を減額したほうがいいという意見も出ています。

若い会員が入会してこない、ロータリークラブはどんどん衰退してきます。どうしたら、若い人に喜んでもらえるロータリーを作るか考えて欲しい。



2730地区大会の様子

例会場：石 崎 浜 荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0211 宮崎郡佐土原町大字下田島 20614-29

例会日：毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 T E L : 0985-73-7170 F A X : 0985-73-7170

